

第2号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）  
事業計画（変更計画）書

平成 25 年 6 月 10 日

1 実施主体

(1) NPO法人等が申請する場合

NPO法人等 (実施主体)	種別及び名称	特定非営利活動法人フラガールズ甲子園		
	住所	いわき市平南白土字八ツ坂 36-2		
NPO法人等 (連携先)	種別及び名称	同上	担当者名	荒川涼子
	住所	同上	電話番号	090-7329-3149

(2) 協議体が申請する場合

協議体の名称				
代表構成員の団体名 及び代表者職氏名				
構 成 団 体	都道府県・市区町 村名及び部課名		事業における 役割	
	民間非営利組 織の種別・名称		事業における 役割	
住所		電話番号		

2 事業概要

事業名	全国学生フラダンス・フェスティバルを通じた交流事業
総事業費	2,500,000 円（うち希望補助金額 2,250,000 円）
事業の実施期間	平成 25 年 9 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

注：補助対象期間は補助金の交付決定日からとなります。

### 3 事業計画

<p>地域における 課題と事業の 目的</p>	<p>地域課題、地域社会にとっての必要性（ニーズ）及びその確認方法、重要性、この事業により期待できる成果、地域住民への効果等がわかるように記載してください。</p> <p>「フラ」は観光施設などを通じて、いわきの重要な観光イメージのひとつとなっている。しかし、いわきにおけるハワイのイメージは単に「フラダンス」「アロハシャツ」などどこか表層的かつ商業的なイメージが強いのが否めず、ハワイの文化や歴史、日本との交流の歩みなどを知るのは、一部の市民のみにとどまっているのが現状である。そのため、みずみずしい完成をもつ学生を中心に、表層的な部分だけでないハワイ文化を、身をもって学んでもらい、全国の大学・専門学校生とともにそれを発表する機会を与えることで、いわきにおけるフラ文化をより深く浸透させ、地域振興につなげていきたい。また、全国の学生たちは被災地支援にも深い関心を寄せている。そうした学生が直接、被災地に足を向け、地元の学生と交流することはお互いにとって有意義なことであり、将来的には本県の復興にも大きく寄与するものと思われる。</p>
<p>事業の目標</p>	<p>「〇〇を〇〇以上にする」等、可能な限り数値を用いて記載してください。</p> <p>“フラガールのふるさと” いわきを舞台に、フラを通じて全国の学生同士が交流する機会を提供し、いわきを日本におけるフラの聖地として効果的に全国にPRする。このことにより、フラを通じた交流人口を倍増させ、全国レベルの大会、発表会などが数多く行われるようにする。</p> <p>また、運営には地元の学生を中心に主体となって取り組んでもらう。運営を通じた将来の地域づくりの担い手育成も目指す。</p>
<p>事業内容</p>	<p>事業の内容、実施時期、実施場所（会場）、参集範囲及び参加予定人数等を具体的に記載してください。事業内容が複数に分かれる場合は、事業ごとに記載してください。</p> <p>(1) 現在～、全国学生フラ連盟（仮）に向けて、有志の地元の学生十数名とともに事務局を運営する。学生たちは環太平洋文化の研究にあたりながら、機関紙発行を通じた情報発信や事業実施の基礎を築く。必要に応じて本法人が講師派遣や運営アドバイスを行う。</p> <p>(2) 平成25年9～10月ごろ、当NPO法人メンバー数名がハワイを訪れ、現地大学・高校生、市民団体との協力体制を築く。</p> <p>(3) 平成26年2～3月ごろ、市内で全国学生フラダンスフェスティバルを行う。参加見込み数は100名で、できればハワイの学生や講師も招きたい。これに合わせて被災地案内や慰問活動なども行う。</p>
<p>見込 まれ る 成果</p>	<p>1. 本県の復興 支援・被災者支援の観点</p> <p>事業によって見込まれる成果について、直接的な効果と波及効果の観点の2つの観点で記載してください。被災者支援の場合は、特に、本事業により支援を受けた被災者の延べ人数を記載してください。</p> <p>1、直接的な効果</p> <p>① 訪れた学生に被災地を案内し、本県の現状を知ってもらうきっかけを作る。これにあわせて仮設住宅等への慰問活動も行い、被災者の方々が心癒されるひと時を提供する。（被災者のべ人数約150人）。</p> <p>② 本県の学生に日本全国、海外の学生と交流を深める機会を提供するとともに、地域に貢献できる自立した人材育成をはかることができる。</p> <p>2、波及効果</p> <p>“フラガールのふるさと” いわきを効果的に全国にPRすることで、ハワイ愛好家などのコアなファンを増やし、交流人口の増大など観光・文化交流の面からの復興が見込まれる。</p>

2. 取組 実施主 体の運 営力強 化の観 点	<p>取組内容により、取組実施主体においてどのように運営力強化が図られるのか記載してください。</p> <p>本事業のために地元大学との連携を深め、「全国学生フラ連盟」を組織し、ともに運営を図ることで、将来を担う若い人材をまきこみ、協力体制を築くことができる。 東日本国際大学、いわき明星大学、福島高専等大学専門学校など地元大学等との連携を強化し、学生ボランティアの力を生かしてもらうとともに、このつながりを今後の法人運営にも生かしていくことができる。</p>
事業 スケジュール	<p>いつ、どのような活動を行うのか、事業の進め方、段取りがわかるように記載してください。</p> <p>25年6月 全国学生フラ連盟の組織化準備 25年9～10月 ハワイ研修 25年11月～1月 参加学生の募集 25年2～3月 全国学生フラフェスティバルの実施</p>
事業実施体制	<p>事業の実施責任者、会議体の構成員の名称及び役割分担等を記載してください。 複数の団体が連携して申請する場合は、連携の具体的な内容についても記載してください。 NPO法人フラガールズ甲子園が主体となって行う。 全国学生フラ連盟の事務局は地元大学の中に置く、本法人の中では特別協力団体と位置付ける。</p>
事業終了後の 展開	<p>事業終了後、会議体の取り組みをどのように継続し、または発展させるのかを記載してください。</p> <p>参加した学生には大学生活の中で引き続き、環太平洋文化について学ぶ機会を提供するとともに、全国学生フラ連盟の運営にあたってもらう。 本法人では講師派遣や運営アドバイスなどで支援していく。</p>
事業の先進性・ 普及性	<p>どのような先進性を有するか、どのようにして他のモデルとなるのかを記載してください。</p> <p>大学生によるフラ交流イベントは他県でも行われているが、フラだけでないハワイの魅力を再発見し、見識を深めながらより広域の学生に参加してもらい、継続的な取り組みを続けていくことで、人づくりをしながらいわきをフラの聖地として、より強く全国にPRできる。</p>
特記事項	<p>特に説明しておきたい事項、アピールポイント等ありましたら記載してください。</p>

※用紙が足りない場合は、適宜追加してください。

※地域社会にとっての必要性（ニーズ）について確認できる資料（新聞の切り抜きやアンケート結果等）がある場合は、A4用紙1枚（両面可）に限り添付できます。

第3号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）  
収支予算書

申請者名 特定非営利活動法人フラガールズ甲子園

【収入の部】

（単位：千円）

区 分	平成 25 年度 予 算 額	明 細
ふるさと・きずな維持・再生 支援事業補助金	2,250	
自己資金（負担者名）	250	
事業収入		
その他収入		
収入合計	250	

【支出の部】

（単位：千円）

区 分	平 25 年度 予 算 額	明 細
人件費（共済費を含む）	300	専属有償パート1か月5万×6か月
報償費	400	ハワイから講師派遣謝礼等（交通費含）
旅費	550	羽田～いわき、東京～いわき往復交通費
需用費		
消耗品費	50	各種メディア、紙など購入
燃料費	100	被災地案内時車リース料など
印刷製本費	300	ポスター、チラシ印刷費、学生による新聞広報紙発行等
役務費		
通信運搬費	100	
手数料		
保険料	100	1名500×200名
施設使用料及び賃借料	300	施設使用料、音響照明費、交流会費など

委託料	300	ビデオ作製
支出合計	2,500	

注1 用紙の大きさは、A列4番とすること。欄が足りない場合は、適宜追加してください。

注2 「明細」欄には各区分の積算内訳として、名称、数量、単価、金額を必ず明確に記載すること。なお、「明細」については別紙として添付しても差し支えない。仕様については別途資料を添付すること。

注3 行政による他の補助事業も併せて利用する場合は、各補助金の使途を明確に区分し、この資金計画には、ふるさと・きずな維持・再生支援事業補助金を使用する部分の収支のみ記載すること。他の補助事業にかかる収支についてはこの資金計画には計上せず、別様式にて収支予算書を添付すること。また、他の補助事業の内容が分かる補助金交付要綱、要領等、使途の区分が分かる資料を添付すること。

